



2022年12月1日発行  
1947年10月27日  
第3種郵便物認可  
発行所/日本YMCA同盟  
東京都新宿区本塩町 2-11  
THE YMCA 神戸版  
神戸YMCA  
〒650-0001  
神戸市中央区加納町 2-7-11  
Tel 078-241-7201  
Fax 078-241-7479  
www.kobeymca.org  
発行人/井上 真二  
編集人/松森正樹  
印刷/有わかばやし印刷

# YMCA News



年間聖句

「あなたに平和、あなたの家に平和、  
あなたのものすべてに平和がありますように。」 サムエル記上 25章6節

おつかしのぶ

(公財)神戸YMCA評議員 大塚 忍さん (日本キリスト教団神戸教会牧師)

「わたしはキリストであるからキリストのものであり、キリストを模倣しなければならない。それだけでなく、さらに一歩進んでキリストと一致し、その状態を持続しなければならない。ところで、もしイエスが今日この世界にいられたら、どんな風に新聞を読まれるだろう。イエスはきっと新聞を読まれるにちがいないのだから。彼が世の中のニュースに無関心でいられるはずがない」(『イエスが新聞を読まれたなら』ミシェル・クオスト)。

2022年も、私たちが生きている世界は大きく揺れ動きました。2月にはロシアがウクライナへ侵攻、その後ウクライナの東・南部4州を一方向的に併合するとの文書に署名がなされました。戦争が始まって以来、多くの団体が即時停戦の祈りを捧げ、平和へのメッセージを公開してきました。他方、わが国においては、ウクライナ情勢に乗じて不安を煽り、軍備増強すべき、核武装をすべき、などという声も聞こえてくるようになりました。この世界の現実をイエスは、どのように見ておられるのでしょうか。キリストを模倣して歩みたいと願う私たちは、イエスが今この時代において「どんなふうに新聞を読まれるだろう」と思い巡らせなければならないと思うのです。

ドイツでは、プロテスタントとカトリックの協力と青年伝道を目的として全ドイツ「教会大会」(キルヘンターク)が隔年で開かれています。多くの青年が集まり、講演や音楽などのさまざまな出し物で賑わいます。『讃美歌21』に収められている419番「さあ、共に生きよう」(作詞・作曲:ロルフ・シュバイツァー)はこの大会で歌われ人気が出た讃美歌のようです。一節の歌詞は以下の通りです。「さあ、共に生きよう。主はこの時代の苦しみと悩みを担ってください」。故川端純四郎先生(東北学院大学教員・仙台北教会オルガニスト)は『さんびかものがたりIV さあ、共に生きよう』において「さあ、共に生きよう」は、日本語に訳すとき、音符に収まりきれないので思い切って短くした意識であると説明され、原詞の一節を以下の通りに直訳されて

## 「見よ、兄弟が共に座っている。 なんと、兄弟が共に座っている。 なんと、兄弟が共に座っている。」(詩編133:1)

## 今も語りかけるイエス・キリスト

います。「異邦人だったあなたが私たちの友だちになるために、この私たちの時代に人として現れている、苦難と貧困をくぐってあなたは道を進む、使信を私たちにとどけるために」。「異邦人だったあなたが私たちの友だちになるために」が「さあ、共に生きよう」と訳されたのです。原詞はすべてが現在形です。2000年前という過去に、この地上にイエス・キリストが到来したというのではなく、今という時を生きる私たちの時代に和解の使者としてイエス・キリストは来てくださっているということです。

詩編133編1節は、日本聖書協会の口語訳では以下の通りに訳されています。「見よ、兄弟が和合して共におるのはいかに麗しく楽しいことであろう」。イエス・キリストの降誕を祝うクリスマスを迎えます。この地上に到来される御子は、詩人が語ったような世界、分断された人々が和解し共に生きるために、私たちに言葉を語りかけておられるのです。詩人が夢を見た麗しく楽しい世界、イエスが目指した人が人を抑圧することのない世界を現実化するために、イエスの言葉を聞き続け、イエスを模倣しながら歩んでいきたいと思うのです。



### YYYフォーラム報告

#### 1歳からYMCA歴60数年の方まで!?

ひでひら ゆうま

神戸YMCA常議員・会員増強委員長 秀平 悠磨さん



9月10日(土)、YYY(YMCA、Y's、Youth)フォーラムが、新神戸駅から市ヶ原まで約3.7キロを歩くハイキング形式で開催されました。参加者は1歳からYMCA歴60年以上の方まで33名。休憩とゴール時にはドリンクやフルーツの配布も!市ヶ原での交流プログラムでは、当日が誕生日の職員の方をお祝いしました。

今回のYYYフォーラムは、Youth世代のYMCA職

員との交流にフォーカスしました。求める交流方法に世代差があることは検討課題ですが、参加者の皆さまはどのように感じられたでしょうか。YMCAのイベントは参加するとほっこりする、などと広めていただけたら幸いです。次回の折には、お茶屋さんをより満喫したいです。

参加者の皆さま、ご協賛いただいたY'sの皆さま、ありがとうございました。

## 新年を迎えるにあたり

## 世界から神戸へ、そして神戸から世界へ

神戸YMCA 会長 中道 基夫  
神戸YMCA 総主事 井上 真二

世界YMCA大会は4年に1回、世界中のYMCA職員、会員、ボランティアなどの関係者が集い、共通の理念、目的や課題、運営組織等を決める国際会議です。その第1回は1855年にパリで開催され、9カ国から99名の若者が参加しました。そして2022年7月、デンマークのオーフスには70カ国から現地1,000名、オンライン参加をあわせて約2,500名が集い、「IGNITE」をテーマに第20回大会が開催されました(IGNITEには点火、発火の意味があります)。地球規模の課題解決のために、2030年までの行動指針となる「ビジョン2030」が以下のように採択されました。

- Community Wellbeing (心と身体の健康のために)
- Meaningful Work(やりがいのある仕事と環境の創造)
- Sustainable Planet(持続可能な地球のために)
- Just World(公正な世界の実現のために)

日本のYMCAは世界YMCAの動きと連動し、日本YMCA同盟協議会は、以下の5つの項目を日本YMCA中期計画(2021-2023)として決めました。それぞれの英語が神戸YMCAで何を意味しているのかについては、神戸YMCA「YMCA News」6-7月号で記述していますのでそちらをご参照ください。

- Positive well-being
- Youth Empowerment
- Technology for social inclusion & diversity
- Partnership
- Change Agent

神戸YMCAでは、前期(2021-2022)と後期(2023-2025)に分けて中期計画2025を策定し、前期は後期計画の策定期間とすることを前提に、人材育成、気候変動への取り組み、プラットフォームの刷新、3法人の連携強化を計画の中心に据えています。VUCA(先行きが不透明な状態)の時代と言われ、更にコロナ禍により事業、財政に影響が続く状況ではありますが、世界のYMCAと共に2030年を見据えた中期計画を策定し、YMCA運動の再興をはかっていきます。



## こくさいのまど × ウェルネスセンター

## 台湾・高雄YMCAとオンライン交流

ファミリーウェルネスセンター 完山 紘基

8月31日(水)、高雄YMCAとのWellness交流をオンラインで実施しました。パートナーYMCAである高雄YMCAとは、コロナ禍においてもオンラインにて神戸YMCA学院専門学校との情報交換や英会話プログラムの交流会を実施してきました。

今回は、高雄市にある左営スポーツセンターを見学しました。同センターはWorld Masters Games 2009の会場として建設され、最近リニューアルした施設です。このたび、高雄YMCAが高雄市に指定管理者として新たに選ばれ、運営を始めました。

副総主事の蔡政甫さんが案内してくださいました。緑と池に囲まれた清潔でスタイリッシュな施設には、ファミリーで利用可能な卓球場、AIを搭載した最先端のトレーニングマシンが揃うジムエリア、人気のエクササイズ・空中ヨガやTRXの専用スタジオなど多彩な設備が整っていました。プールはさほど大きくないのですが、プログラムの質が高

いと評判で、こどもの水泳教室が人気のようでした。日本のYMCAから学んだことを実践していると聞き、アクアティックプログラムの質が高いことを改めて感じました。キャンプリーダーのための教室やトランポリン専用の教室もあり、広場ではアルティメット(フライングディスクの団体競技)の大会が予定されています。さまざまなプログラムを展開し、多世代が利用する、魅力あふれる場所でした。

施設の魅力だけでなく、高雄YMCAの皆さまの



活き活きとした姿や素敵な笑顔がとても印象的でした。国は違っても、地域の人々が健康に、より良くなっていくことを共に目指していることを実感できる時間でした。

高雄YMCAの皆さまと左営スポーツセンターと一緒に運動できる日を心待ちにしながら、今後も交流を続けていきたいと思えます。



## 「混沌の地」One Campの世界



キャンピングサービスセンター 阪田 晃一

今年、約2年ぶりにOne Campを開催しました。2018年に始まった同キャンプは、1953年余島肢体不自由児キャンプと、2011年東日本大震災復興支援I'm a Partnerを源流とします。「異なる境遇で過ごす私たちが共に生きる世界へ」をテーマに、記憶と記録の継承を行いながら、現代に目を向け、コロナ禍を経た僕たちはいったいどうやって生きていけばいいのか。価値貫徹の構えを貫こうとしました。

ヘルマン・ヘッセは『デミアン』の冒頭で、「私は自分が欲するところのものを生きようとしたに過ぎない。なぜそれがこんなにも困難なのか」と語り始めます。「人間の衣を被っただけのような人間がいる」と平凡を批判します。代わり映えのないありきたりな生活から抜け出し、芸術家として終生旅をし

続けた作家の実存が重なります。

One Campはヘッセが言う放浪の旅に似ています。安住を拒み、それまでの当たり前を破ろうと思った、そんな人々がやってくるのです。しかしそこにはいつしか滞在することができません。正確には多くの人間にとって、その世界はあまりにもデタラメなので、一時的にしかその甘美を味わうことができないのです。

クレーマーという境界線的存在(安住の地から見たら悪)が、シンクレールを外へと引っ張り出します。無垢な少年シンクレールは、デミアンによって媒介される「混沌の地」を生きます。そこで深淵を見て、臆げから覚醒へと向かう途上で物語は綴じられます。

僕たちは理性の光によって、この世界を明るく照らし出し、理路整然と解釈したがる傾向を持っています。しかし愛や希望といった、混沌の中でしか見えないことがあります。だから人々はOne Campにやってきます。One Campは、それが何かよくわからないとき、その機能を果たします。「聞かれる前は知っているが、聞かれるとわからないもの」。古代ギリシャの大哲学者の言葉は、すべてを物語っています。

混沌の地を目指す者たちよ、未規定の前に立ち尽くす勇気をいつまでも持ち続けてほしい。挫折しても気にせず、何度でも立ち上がってほしい。絶望する者がいる限り、One Campの挑戦はこれからも続きます。

## R E P O R T

## 西神戸YMCA幼稚園

## 実りの秋「収穫感謝礼拝」

10月28日(金)、収穫感謝礼拝を行いました。その前には全園児で、お芋掘りに行きました。土の中から「知っている」「手にしたことのある」お馴染みの“さつま芋”が出てきて、自分の手で収穫するのは、大人が思う以上に大きな大きな喜びです。一生懸命に土を掘ってお芋を掘り出すと、あちらからもこちらからも「せんせーい!」「見て! 見て!」「せんせーい!」と大興奮の声が上がります。

そんな喜びを心と体でいっぱい感じて、収穫感謝礼拝を行いました。神様から与えていただいた多くの

恵みを目の前にすると、自然に「ありがとう」の言葉が出てきます。給食の先生が具沢山のお味噌汁にしてくださって、全員で感謝していただきました。目にも豊か。心も豊か。お腹も豊かに満たされて幸せなひとときでした。

さつま芋が嫌いではなかったけれど、自分で掘ったお芋を食べてさつま芋が大好きになったということもいます。喜びの力はすごいです!



## 浜脇留守家庭児童育成センター

## 知らないことを体験した

コロナ禍により、子どもたちの環境が大きく変わりました。行事も思った通りにできず、マスクで表情も見えない。浜脇育成センターでは、子どもたちがどのような体験をできるのかと悩み、運動会代休日の10月17日(月)、約3年ぶりに全学年で京都鉄道博物館へ遠足に行くことにしました。

1、2、3年生は遠足が初めてなので、すぐに列に並べなかつたり、班行動なのに単独行動をしたり、慣れないことばかりで少し戸惑っていました。それでも、3年生が1年生の手を引いて歩く姿や、実際に使われていた運転席に座って目を輝かせる姿を見る

ことができました。蒸気機関車に乗ったときには、黒い蒸気を煙たそうにしながら、遠くに見える新幹線や電車に手を振っていて、その表情はマスク越しでも分かる笑みで溢れていました。

帰りのバスでは、疲れているはずなのに「みんなで行って楽しかった!」「はじめて電車を下から見たんだよ」と興奮しながら話す子どもたちの様子が見られました。慣れないことや知らないことを体験したことが、子どもたちにとって財産となり、心の豊かさを培うことができたのではと思います。



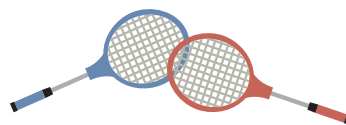
## 神戸市立須磨体育館

## 地域のスポーツ活動の拠点として

地区体育館では、近隣の小学校や地域のスポーツクラブから依頼を受けて「出張指導」に伺っています。スタッフを派遣し、要望に応じた指導を行うだけでなく、参加するすべての方が楽しく活動できるよう、サポートを行っています。

10月初旬、須磨体育館のスタッフは、近隣小学校の体育館を訪れました。親子運動と、小学校低学年を対象としたマット・とび箱の指導を行いました。この出張指導は毎年恒例となっており、これまでたくさんの親子や子どもたちが参加しています。

長年続けていると、参加してくれた子どもたちと、別のかたちで再会することがあります。親子運動に来ていた小さな子どもたちが小学生になって体育館のプログラムに参加してくれるなど、出張指導をきっかけに、体育館のプログラムやYMCAのプログラムに出会うのです。地区体育館の「地域のスポーツ活動の拠点」としての役割を、今後も継続して、果たしていきたいと考えています。



## 仲間とつくる学院祭

## 神戸YMCA高等学院

10月22日(土)、心地良い秋晴れの下、西神戸YMCA学園都市会館チャリティーバザー「ワイワイまつり」が開催され、高等学院も学院祭として参加しました。3年生の「釣りぼり」、2年生の「わなげ」、1年生の「まとあて」のゲームコーナーには、たくさんの子どもたちの笑顔があふれました。ゲームを楽しむだけでなく、来ていただいた方に喜んでもらえるようにと、景品の一つひとつに心を込めて手作りしました。竹(紙)とんぼ、アクセサリ、折り紙作品など。あまりに素敵なので、それらを目当てに何度も来てくれる子どもたちもいて、とても嬉し

かったです。

生徒たちはそれぞれ、実際の接客から得た手ごたえが自信につながったり、普段はあまり話したことがなかった仲間たちと同じ空間を共有することで、少しずつ連帯感が感じられたりしたのではないのでしょうか。一つの行事の中での出会いを通して、まぶしく成長してゆく姿が見られました。また来年を楽しみにしています。



# YMCA STORY

## 神戸YMCA混声合唱団「くさぶえ」と共に

神戸YMCA混声合唱団 代表 鈴木 肇 さん(名誉会員)



高羽小学校の4年生のときに素晴らしい音楽の先生に恵まれた私は少年時代から合唱や器楽合奏に親しみ、六甲中学で洗礼を受けて教会の聖歌隊員となつて以来、83歳の今でもミサの中で詩編の独唱を歌わせていただいています。定年が近づいた55歳の春、神大オーケストラの先輩浅田浩さんに勧められて「くさぶえ」に入団し、他の2つの合唱団と掛け持ちしながら27年が

過ぎました。

「くさぶえ」の歴史は古く、1967年に19名の若者が「草笛コーラス」という名で活動を始め、翌年、第18回関西地区YMCA合唱交歓会に参加したという記録が残っています。YMCA会館が中山手通から加納町に移ってしばらくは休止していたのですが、1984年に現指揮者の阿部望先生のもとに「くさぶえ」として再結成されました。2004年には再結成20周年の記念コンサートを灘区民ホールで、同じ阿部先生がご指導のハンドベル「ディンドンリングーズ」の賛助出演を得て成功裡に開催することができました。同時に20周年記念誌も編集しました。

2006年の神戸YMCA120周年記念音楽会にも参加し、2011年と2012年の125周年記念礼拝には「音楽と祈りの集い」(うはらホール)に参加しています。2018年10月には50周年を記念して新築のYMCA三宮会館で先輩方もお招きして楽しい集いを開催し、過去200曲近い

作品の中から12曲を選んだ「阿部望編くさぶえ50周年記念合唱曲集」を刊行しました。

定期演奏会は行わず、YMCAの行事や関西地区YMCA合唱交歓会への参加に加え、施設訪問をして歌声をお届けしています。夏の宿舎で、余島や六甲山YMCAへ行ったことはよい思い出です。コーラスの仲間は素晴らしいです。

私たちは阿部先生が作曲、編曲、訳詞されたオリジナル無伴奏合唱曲「ア・カペラ」を基本とし、合唱本来の魅力を求めた熱心なご指導のもとで楽しく練習しています。ただいま団員募集中です。月2回、火曜日の夜に、三宮会館2階のチャペルで歌っています。ご希望の方はどうぞお気軽にお越しください。

「くさぶえ」の活動が神戸YMCAの発展に少しでも役立つように願います。

### 神戸YMCA混声合唱団「くさぶえ」メンバー募集中!

合唱の楽しさを味わえる曲を選んで練習しています。

【練習日】 毎月第1・3火曜日 18:30～ 【YMCA年会費】 一口5,000円(一口以上をお納めください)

【場所】 神戸YMCA三宮会館 2階 【お問合せ】 神戸YMCAカレッジ TEL.078-241-7204

【指導】 阿部 望 先生

### 「ブランシェール神戸北野」誕生!

ブランシェール神戸北野 事業所長 島尾 侍道 さん

2022年10月1日をもって、「ライフ&シニアハウス神戸北野」は「ブランシェール神戸北野」に名称を変更いたしました。「ブランシェール」とは、フランス語で「流行の先端をいく」という意味を表す「BRANCHE(ブランシェ)」と、「翼」を意味する「AILES(エイル)」を掛け合わせたものです。「より自由に、羽ばたくように、ご自身らしくイキイキと楽しむ暮らしを提供したい」という想いを込めました。

お一人おひとりに心地良い「間」を追求した住環境を整え、約30年の経験と実績のもとに培った、心身共に寄り添うサービスをご提供し、幸せに歳を重ねていきたいという願いが叶いますように「ブランシェール」が一生懸命、考えます。顔を見て、声を聞いて、そばにいて、いま、できる最良の幸せづくりのお手伝いに、一生懸命、努めていきます。高齢期の生活について、お気軽にご相談くださいませ。

### キャンプ部屋という無限ループ

キャンピングサービスセンター 阪田 晃一 さん

本紙2021年8・9月号で「キャンプ部屋の実験」を報告しました。輪郭がはっきりとしない曖昧さに惹き寄せられ、たくさんの方が訪ねてくれました。一方で「終わりがあるものに人はどう向き合うのか」という実験に、残酷さを突きつけられもしました。「いつか消える」とわかっていても、僕たちは良きものがそのまま続くと信じてしまうのです。

幸い、さまざまな方の取り計らいでキャンプ部屋を会館内に移設することができました。今度はこじんまりとした、山小屋のような雰囲気です。新たな人は第2

期キャンプ部屋の誕生を喜び、記憶を継承する人は「これもまた消えるのか」と思考してしまいます。

ユングは『ヨブの答え』で、旧約聖書における「知恵」の象徴的な意味について、大胆な仮説を提示しました。理性に閉ざされるのではなく、理性と感情のループに気づき、自覚的であり続けること。理性と感情の間で振り乱される存在をこそ、神は愛でるのではないかと。小さな小部屋から始まる新たな実験に、この無限に繰り返されるであろうループの中にこそ奇跡が存在するのではないかと、そんなことを思うのです。

### ワイズコーナー

#### 西宮YMCA・YYカーニバル

六甲部地域奉仕・環境事業主査

廣瀬 一雄 さん(西宮ワイズメンズクラブ)

毎年10月に、西宮YMCAと西宮YMCA保育園の建物を主な会場に、YYカーニバルを開催していました。



ワイズメンズクラブはカレーライスの販売や、寄贈品を販売する「のみの市」を担当しています。周辺の清掃や来場者の自転車整理も受け持っています。

近年、西宮YMCAは、西宮つとがわYMCA保育園を運営したり、近隣の3小学校の育成センターの指定管理者になったり、放課後キッズの活動委託を受けるなどして、年々お客さんが増加していました。ところがこの3年、コロナ禍でやむなく中止しています。早く以前のように、写真のような中庭でのイベントができることを願っています。

### 感謝寄附

《寄附》原 寛、高田 裕之、三島 浩司、粕谷 卓磨、日野 七海、中山 豊美、鶴丹谷 剛、井上 真二、神戸ワイズメンズクラブ、株式会社神川工務店  
《ウクライナ支援募金》三島 浩司、奥 正之、廣瀬 頼子、川原 真、学校法人松蔭女子学院松蔭中学校・高等学校、日本キリスト教団夙川東教会  
《子ども奨学金》中道 基夫

この他にも、多数の募金・寄附をいただいております。感謝をもってご報告します。(敬称略、順不同)(前号掲載以降~10/20現在)

### 神戸YMCAの使命(日本YMCA基本原則)

- イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学びます。
- すべての人びとの全人的な成長を願い、いのちを守り育てます。
- 人権を守り、喜びと痛みを分かちあう社会をめざします。
- 世界の人びとと共に、平和の実現に努めます。

### 神戸YMCAの願い(神戸YMCA中期計画2020)

すべての「いのち」が光り輝くように、これを守り育てます。そのための活動に世代を超えた市民の参加を求め、その活動を通して新しいコミュニティを創造します。

ファミリーウエルネスセンター  
ランゲージセンター  
専門学校  
西宮YMCA  
余島野外活動センター  
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)  
国際・奉仕センター  
ウエルネスセンター学園都市  
西神戸YMCA  
神戸YMCA高等学院  
YMCAおひさま

☎078(241)7202  
☎078(241)7204  
☎078(241)7203  
☎0798(35)5987  
☎0879(62)2241  
☎078(241)7216  
☎078(241)7204  
☎078(793)7401  
☎078(793)7402  
☎078(793)7435  
☎078(793)9077

西神南YMCA  
須磨YMCA  
YMCA保育園  
西宮YMCA保育園  
西神戸YMCA保育園  
神戸学園都市YMCAこども園  
神戸YMCAちとせ幼稚園  
YMCAちとせ保育ルーム  
西神戸YMCA幼稚園  
西宮つとがわYMCA保育園  
あかしこども広場  
学園都市YMCA保育ルーム

☎078(993)1560  
☎078(734)0183  
☎078(794)3901  
☎0798(35)5992  
☎078(792)1011  
☎078(791)2955  
☎078(732)3542  
☎078(786)3821  
☎078(997)7705  
☎0798(26)1016  
☎078(918)6355  
☎078(794)3045

